

ソシアス総合法律事務所

ソシアス(仲間)のために 全力を尽くす

恵比寿ガーデンプレイスにある法律事務所

——所名に込められた思い・事務所理念を教えてください。

高橋：所名のソシアス(SOCIUS)は、ラテン語で「仲間」を意味します。私は大規模事務所で長く勤務をしていたのですが、大人数で1つの案件に取り組んでいると、どうしても自分がどのような役割を果たしているのかが見えにくくなってしまいます。共に働く「仲間」の顔が見える環境で、「仲間」であるクライアントと密なコミュニケーションを取りながら、きめ細やかなサービスを提供したいと考え、当事務所を設立しました。

また、所名には、私たちの事務所が、クライアントにとっても、所員にとっても、心が落ち着く「Social Oasis(ソーシャル・オアシス)」であってほしいという思いも込めています。典型的なオフィス街ではなく、恵比寿のガーデンプレイス内にオフィスを置いているのも、堅苦しさを無くしたいためです。

大規模事務所の経験を、 機動性高くリーズナブルに

——業務分野・強みをお聞かせください。

大塚：一般企業法務、M&A、ベンチャー支援・株式公開支援、不動産取引・不動産ファイナンス、労務、知的財産、民事訴訟、離婚・相続、刑事弁護等、幅広く取り扱っています。

パートナー3人の専門分野であるM&A・国際取引(高橋)、不正調査・訴訟対応(大塚)、倒産・個人情報関連(梶原)には特に強みがあります。大規模事務所における豊富な経験・ネットワークを生かしたサービスを、少数精鋭ならではのチーム



ワークと機動性、リーズナブルなコストで提供しています。弁護士数も6名となりましたので、今後はよりマンパワーが必要な大規模案件にも取り組んでいきたいと考えています。

梶原：所員間の交流を目的とした所内イベントの実施等により全員が気兼ねなくコミュニケーションを取っているため、お互いのことをよく理解し、仕事上の連携も密にできており、その点が事務所の強み・魅力になっていると思います。案件について真剣に議論を交わし、後になって共通の思い出として共に振り返ることができる仲間がいることはとても貴重ですし、日々やりがいを感じながら仕事をしています。

クライアントとの関係、 事務所内の関係をより強く

——今後の展望・若手弁護士の教育体制を教えてください。

高橋：仲間が多いことで活気が増し、取り扱うことができる案件の幅も広がりますので、人数は徐々に増やしていきたいと思っています。若手弁護士には、いろいろな案件を担当してもらい、様々な分野の知見・経験を積める環境を整えています。

ソシアス総合法律事務所

弁護士数:6名(2023年10月末現在)
代表弁護士:高橋 聖(第一東京弁護士会)
〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿4-20-7
恵比寿ガーデンプレイス センタープラザB1
TEL:03-6416-9416
URL:<https://www.socius.gr.jp/>